



## 防災士会だより

### 神戸町大垣輪中前田堤<sup>りっこう</sup>分割り (陸閘) の変遷

町の桜の名所、前田堤等には分割りという道路が7ヶ所あります。瀬古分割り近くに明治21年7月の決潰之地碑が建っています。

それ以来先人による揖斐川の霞提防堅牢化等、河川治水・防災努力で138年間決壊はありません。

旧県道大垣大野線と交差するところは、昭和34年に堤乗り越え型から分割り型に変更になり神戸街道として整備されました。

町に洪水が生じた時を想定し洪水ハザードマップを参考に水害時の備えをしましょう。



▲陸閘閉塞用資機材保管庫



● M21.7.29 8.30 決潰点  
▲明治時代初期の濃尾平野の輪中地帯の様子より



▲堤防決潰之地碑



▲乗越え型の名残

▲大垣大野線 分割り



▲輪中堤の桜を巡る



## 消防団だより

4月から新体制での消防団活動がスタートしました。4月の総合訓練では、主に新入団員を対象とした規律訓練や消防ホースの取扱訓練を実施し、団員は消防技術の習得に励んでいます。

4月19日(日)には、安八郡消防協会による信号班の3町合同講習会が開催されました。ラッパの持ち方や基本的な吹き方を学び、最後に全員で曲を吹きました。参加した団員は「基礎から教えていただきとても分かりやすかった。今後の訓練に活かしていきたい」と話していました。

